



西荻窪町会 防災会だより



18号

平成26年3月10日 / 西荻窪町会防災会発行

世界でいちばん地震の多い国・日本。防災は日常です

「避難所運営の手順と方法」

地域防災学習交流会を受講しました

平成26年2月21日（金）神明中学校にて学習交流会がありました。地域防災アドバイザー・防災士による阪神・淡路大震災、東日本大震災の教訓を踏まえての講義。その後、町会ごとに図上訓練演習、質疑応答。町会や管理組合が主体となった避難所運営の手順の確認。行政との協働、地域の防災資源の取り扱いなど、多岐にわたりました。震災救援所立ち上げマニュアルの作成と共に、避難者受付、物資の管理、情報共有などの書式作成の重要性も確認し、順次進めていくこととなりました。



次回の防災訓練は、

平成26年3月23日（日）午前10時

実施場所 西荻南 4-26-8

（詳しくは訓練のお知らせをご確認ください）

住宅地での訓練です。中・高校生の参加もお待ちしています。もしもの時はご近所が頼りです！ 少しの時間でもご参加ください。



今年 は 雪 害

45年ぶりの大雪となった今年は、雪によって交通網だけでなく、商店に品物が届かない事態になるなど大きな影響がありました。**備えるのは地震だけではない！** 乾燥させたコーヒーかすは融雪剤代わりになる（太陽光を吸収して、撒いたところは早く溶ける）。そういった災害豆情報も今後お伝えできたらと思います。



震災から3年。災害への備えは進んでいますか？

日本の国土面積は、世界の約0.27%しかありません。しかし、世界中で発生する地震の約20%は日本周辺で起きています。日本では過去100年間（1913年～2013年）に100人以上の死者を出した大地震が20回発生。5年に一度は大地震が発生しています（気象庁気象統計情報・被害地震資料）。改めて確認して驚きました。

東日本大震災後、経験やデータをもとにさまざまな書籍が出版されました。「子連れ防災手帖（メイツファクトリー）」や「～時間軸でわかる心得と知恵～地震の準備帖（NHK出版）」「マンション・地震に備えた暮らし方（樫出版）」など。道を歩いている時、入浴中、電車内、高層ビル。シチュエーションとその安全対策や、避難生活、罹災証明書の申請の仕方、ペットの被災など。災害を乗り切るために何ができるか、より具体的にイメージでき参考になるとと思います。先人の体験、知恵を活用しましょう（3月16日（日）10時～西荻南きずなサロンでも書籍をご覧いただけます）。



★西荻窪町会防災会へご意見、お問い合わせは西荻窪町会防災会 担当：北あきのり まで

西荻窪町会のホームページをご覧ください <http://nishiogikubo-chokai.com>